



ニューはげみ会の再開

七色の会も令和2・3年とコロナ禍で活動する場面を失い、ニューはげみ会も2年度は3回、3年度も3回でしたが、4年度は7月まで予定が立っています。

青洲会病院の理学療法士や介護予防・健康指導員の方々に来ていただいて、リハビリ体操とゲームを行っていきます。5月はお笑いの森田さんが優勝されたとかの「モルック」というゲームを持ってきたので楽しく笑いの中で過ごしました。青洲会病院の方もどんなものをしたら楽しいかなど頭を捻っていらつしやるようです。

糟屋地区の身障者協会も6月はボッチャ大会をかすやドームで開



催する予定です。どのくらいの参加者があるのか、会員さんも、ボランティアも高齢化が進み体調が悪い方が増えたように思います。身体に気をつけて活動していこうと思います。

七色の会 松永 禮子

糟屋地区身障者協会 ボッチャ大会に参加して

前日の雨で足元の悪い中、小雨の降る中をボッチャ大会に参加する選手をはじめ、関係者の方々がかすやドームに集まり、6月11日(土)、身体障がい者ボッチャ大会が開催されました。

主催者、来賓者のあいさつの後、新宮町選手代表による力強い選手宣誓がドーム中に響き、ラジオ体操の後、試合が始まりました。皆、心の中で「ヨーシ、ガンバルゾー」と思ったに違いありません。

ルールなんか分からん分からんと言いつつも、指導員さんの丁寧なルール説明に耳を傾けていました。ボッチャとは先ずはじめてに野球ボールくらいの大きさの白い球を投げ、白い球を投げた人が続けて赤か青い球を投げます。次に白い球より遠くにある球のチームの人が投げ、最後は白い球の近くに球を投げたチームに点数が入る

というゲームです。なかなか力加減が難しい競技です。

昼食を摂り、試合続行で、少しずつルールも分かってくるようになっていきました。なんと試合が終わって見たら、粕屋Bチームが3位入賞を勝ち取っていました。真剣に試合に臨まれている選手の方たちが筋力が失われないようにと日々どれほどの努力をされているのだろうと思うと胸が熱くなる思いでした。そして、ボッチャ大会の成功を願い、何回も話し合いを重ね準備してくださった役員の方々への感謝を忘れてはいけな

いと思います。

来年も一人でも多くの方の参加を願って、会場を後にしました。

七色の会 俣木 嘉子



電話訪問の役割を 終えて

私はまもなく79歳になります。健康上の問題が発生し粕屋町ボランティア団体「しおんの会」をこの5月末で退会することといたしました。

約20年にわたり「しおんの会」の一会員として所属し毎月一度と少ないながらも、独り暮らしの高齢者の方への電話訪問を続けて参りました。しおんの会とは、高齢者の方と電話によりコンタクトを主とするボランティア団体です。

電話訪問の目的は、会話を通して安否確認や状況把握にあります。会話によって高齢者の方の何らかの心身的な変化を感じたときには、その旨を粕屋町社会福祉協会に報告すると、同協議会が人を配して訪問し状況判断の上で適切な対策を講じるという流れになります。

高齢者の方と電話をかける私たちボランティアは、双方共に情報共有はしていません。お互い手探り状態での会話の中で、高齢者の方の健康状態を推し量り、通常でない端緒を見い出すことに神経を集中するのです。

高齢者の方は自分から話をされる方は無いに等しく、心身の変化の端緒を掴むためには、少しでも

長く声を聞き、その声量やトーンを頼りに判断するという困難なことでもありました。そこで私の電話にはリラックスしていただきたことと、安心感を持つて現状を語ってほしいということ私のモチベーションにして、高齢者の方に応じた話題の選択や落ち着いた声のトーンでゆったりとした聞き役に回るように努めていました。

会話には時として、その人の人となりや性格が表出するもの。しおんの会での電話訪問が、自己研鑽であり修練の場でもあり、真に貴重な時間を過ごすことができたと感謝を申し上げる次第です。

最後になりますが、しおんの会の会員も高齢化により最近減少してきました。しおんの会や他のボランティア団体も含めて、多くの方々のご参加をお願いいたします。

しおんの会 坂名 弘道

友愛訪問の会での 一縁

新型コロナウイルスの感染者が激減し、自粛が解かれ、以前と同じ生活が少しずつ戻ってきました。自粛期間中は用事を済ませると直ぐに家に帰っていました。今ではマスク、手の消毒、検温をして会合や習い事も復活してきました。一年前、高齢者の方が亡くなり

ました。連絡があったけどコロナ禍中なので、通夜、葬儀を遠慮したのが残念でなりません。親しくしていたのに二度と訪ねることのない場所、会うことのない人とは、その存在が永遠に欠落してしまいました。これからはみんなが笑顔で交流できるように願っています。

友愛訪問の会 永井 房子

訪問できなくとも 友愛の思いを

友愛訪問活動は、満足のいく（十分な）活動ができませんでした。時折、訪問できる機会があったとしても、施設に入られていたり、転倒して入院されていたりしてご不在であること、体調等を崩されて留意が必要な状態であることを知ることが多々ありました。

その際に、個人情報保護の観点により、自分たちが得られる情報が限られることを理解しつつも、対応が後手になっていくことや何もできないことへのもどかしさを強く覚えます。転倒防止や体力維持のために散歩をされている方を見かけ、少しずつ以前のような日常に戻る過程であると感じます。

今後、コロナ感染拡大防止を行うしつつ、友愛活動の幅が少しずつ戻っていくことを祈ります。

友愛訪問の会 土屋ちず子

プランターで お花を育ててみませんか

ボラ連では美化活動の一環として、平成22年度より花の一鉢運動を展開しています。



【美化ボランティアの募集】

- 一、ボランティア登録をします。
- 二、初回にプランター、土、肥料、苗を用意します。その後、年2回苗を配布します。
- 三、自宅の道路に面した所などに置いて、水やりや花殻摘みなどの手入れをお願いします。

申込期間…九月末日
申込先…粕屋町社会福祉協議会

☎ 938—6844

各団体のボランティアも募集しております。

編集後記

、コロナ禍による寄り添いの回避が長引いてボランティア活動が変化を余儀なくされている状況の中で、寄稿していただきました。ありがとうございます。(M)